

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	センサーポーチライト SLG-60F		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	6ヶ月
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	☎ ()		

(注)印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

お願い

- センサーポーチライトのご使用について不明な点がございましたら弊社までご連絡下さい。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

PORCH TYPE SENSOR LIGHT センサーポーチライト SLG-60F

取扱説明書



このたびはセンサーポーチライトをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

⚠ 警 告

- 使用電源は器具の銘板に表示してある電圧でご使用ください。
- 使用するランプは指定された種類、ワット数のものをご使用ください。指定を超えたランプを使用しますと器具が加熱して事故につながる可能性があります。
- ランプの取り付け、取り外し、器具の清掃の時は感電の恐れがありますので必ず電源を切ってください。
- 点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対に手や肌を触れないでください。
- 器具またはランプを紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。
- 可燃性、揮発性の物質のあるそばでは使用しないでください。
- 雨や水滴のかかるところ、温度の高いところには取り付けしないでください。
- 器具は振動や衝撃のあるところには取り付けしないでください。
- 器具は確実に取り付け、ランプはソケットに確実に取り付けてください。

センサーポーチライトご使用上の注意

- 電球はセンサーに近づけないでください。
- エアコン、換気扇など温度の高いもののそばには取り付けしないでください。
- センサーの検知エリアに反射しやすいもの（ガラス、水面、光沢の強いもの）はさけてください。誤作動することがあります。
- 電圧が低下しますと誤作動しますので、延長コードを使用するときは電気容量にあったものをご使用ください。
- 電球は白熱電球をご使用ください。ランプの容量は最大で60Wです。60W以内のものをご使用ください。
- 雨や水滴のかかるところには取り付けしないでください。
- 人、車の触れる場所には取り付けしないでください。特にお子さまの手のとどくところには取り付けしないでください。
- 防犯については、検知エリアに侵入するもの（人、車等）に対して注意、警告を促すにすぎません。盗難や犯罪を防ぐものではないということをご了承ください。
万一発生した盗難事故等による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- ご使用前に取り扱い説明書をよくお読みになり、安全にご使用ください。

部品名称

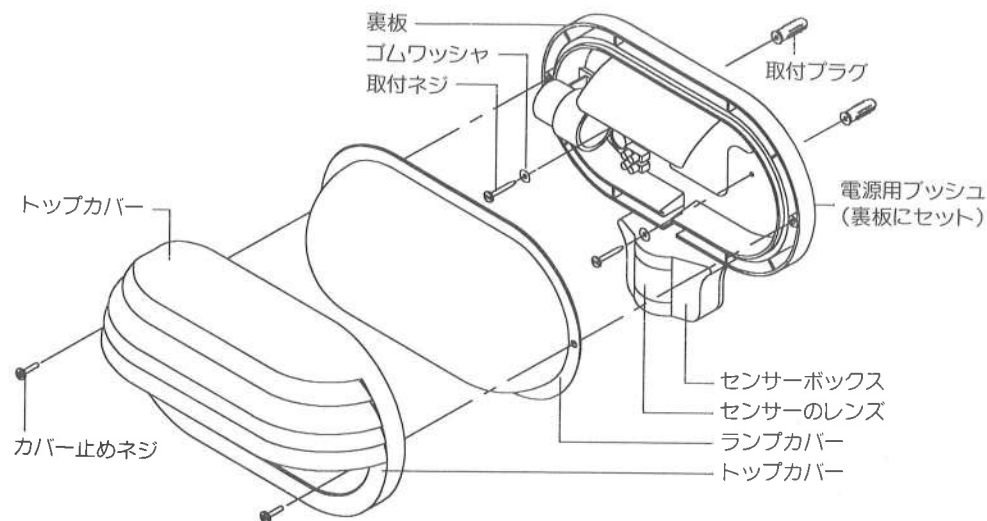


図 1

仕様明細

形 式	SLG-60F
電 圧	100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	消灯時 5 W、点灯時 60W(最大)
検 知 方 法	赤外線温度差検知方式
検 知 エ リ ア	直前約 8 m、左右約 5 m
	左右の角度約 90度
角 度 調 整	左右、下向固定
点 灯 時 間	約 20秒～10分
ラ ン プ の 容 量	最大 60W
設 置 場 所	屋内、屋外で雨水のかからないところ
重 量	0.65kg

※改良のため、予告なしに製品の仕様がかわることがあります。

特 長

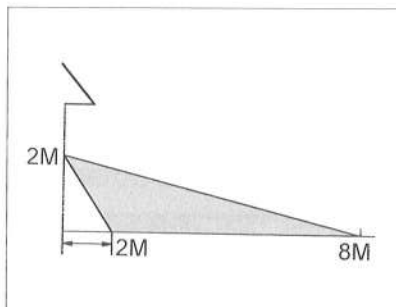
- 本機は夜（暗いところ）のみ点灯、昼（明るいところ）では点灯しません。
- 本機はセンサーの検知エリア内に人間、車等が入るとセンサーが温度を検知して、設定した時間だけ自動点灯、そして自動消灯します。
- 電源を入れたままにしておきますと夜（暗くなると）になると人間、車などを検知しますと設定した時間だけ自動点灯、そして自動消灯を繰り返します。

用 途

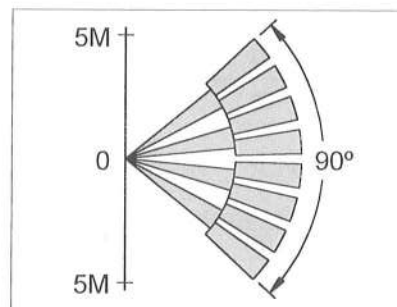
- 一般家庭の節電、安全、防犯—玄関、勝手口、屋根のついた門扉、バルコニー等
- 車庫、展示場等の照明、安全、防犯
- 無人店舗、スーパー、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド等の照明、安全、防犯
- 倉庫、工場、資材置場、温室、養殖場等の照明、安全、防犯

※設置場所により機種を選定してください。

センサーの検知エリア



前方の検知エリア



左右の検知エリア

- センサーの左右の検知エリアは約90°、左右の距離は約5m。
- 前方の検知エリアは約8m。

TIME（時間）SENS（センサー）の調整方法

■TIME（時間）の調整について

- TIME(時間)のダイヤルはセンサーBOXの下面についています。(図4参照)
- TIME(時間)のダイヤルを左(+)方向に回すと長くなり、右(-)の方向に回すと短くなります。
- 時間は右(-)の方向に回して止まるところが約20秒、左(+)の方向に回して止まるところが約10分間点灯します。

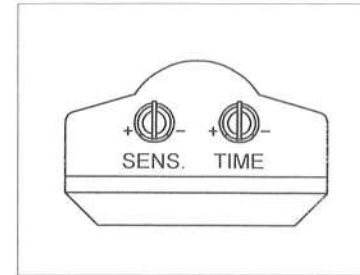


図4

- 点灯時間の調整はダイヤルを回して20秒～10分の間で調整してください。

※本機は昼（明るいところ）では点灯しません。夜のみ点灯。

■SENS（センサー）の調整について

- SENS（センサー）のダイヤルはセンサーBOXの下面についています。(図4参照)
- SENS（センサー）のダイヤルを左(+)に回すと感度が強くなり、右(-)に回すと弱くなります。
- 検知エリアを広く遠くにするときは(+)強にしてください。検知エリアを狭く近くにするときは(-)弱にしてください。
- セットする時は中間にして調整してください。

※SENS（センサー）のダイヤルを右(-)に回して止まるところは点灯しませんのでご注意ください。

■センサーの角度調整について

- センサーBOXは固定してあります。

センサーの作動について

■昼（明るいところ）のテストについて

☞昼（明るいところ）または照明器具が点灯しているところ（約100ルクス以上）では点灯しません。テストのときはつぎのように操作してください。

- SENS（センサー）のダイヤルを右（-）方向に回して、止まるところは弱で点灯しませんので、ダイヤルは中間にしてください。TIME（時間）のダイヤルはどこでもOKですが中間にしておいてください。

- 次に電源を入れて30秒以上後に電源を切って1~2秒以内に再度電源を入れてください。センサーの検知エリア内に人間がいますと、すぐに点灯します。その後はセンサーレンズの前を横切るように人間（手）がいますと、約5秒間点灯して消灯します。テストはこれでOK。

☞センサーのテストを繰り返して行なうとき、すぐに操作をしますと、前のモードが残っていますので、正確に点灯しません。繰り返してテストするときは一度電源を切ってから30秒以上後に再度操作をしてください。

■昼（明るいところ）の簡単なテストについて

- TIME（時間）のダイヤルを右（-）方向に回して止まるところは点灯時間が約20秒です。点灯時間を長くするときは左（+）方向に回して調整してください。SENS（センサー）のダイヤルを右（-）方向に回して止まるところは弱で点灯しませんので中間にしてください。

- センサー部を黒い布でおおって光がセンサー部に入らないようにして下さい。

☞電源を入れて、何度かテストをしますと前のモードが残っていますので正確に作動しません。このような時は一度電源を切って下さい。

- 電源を切って30秒以上経過後に電源を入れて下さい。この時約20秒間点灯、そして消灯。

- 次に布の中のセンサーレンズの前で手を動かすと設定した時間だけ点灯、そして自動消灯します。

■夜（暗いところ）のセンサーの作動について

- TIME（時間）のダイヤルを右（-）方向に回して止まるところが約20秒の点灯です。そこから少しづつ左（+）に回しますと点灯時間が長くなり、止まる所が約10分です。ご希望の点灯時間に調整してください。

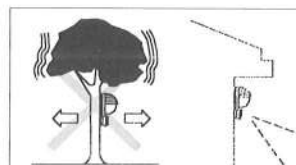
- SENS（センサー）のダイヤルを右（-）方向に回して止まるところは点灯しませんのでダイヤルの位置は通常は中間にしてテストをして下さい。その後、周囲の環境により調整して下さい。

検知エリアが狭くて近い時は弱（-）、広くて遠いときは強（+）にしてください。

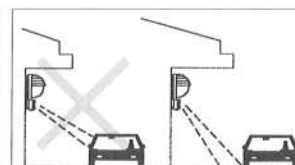
- 次に電源を入れるとウォームアップのため、約20~30秒間点灯して消灯。
- 2回目からセンサーの検知エリア内に人間（車）が入ると設定した時間だけ点灯、そして消灯。
- 電源を入れてTIME（時間）、SENS（センサー）のダイヤルを調整しておきますと毎日同じことを繰り返します。

☞夜（暗い所）は点灯しますが、昼（明るい所）又は照明器具が点灯している所（100ルクス以上）では点灯しません。

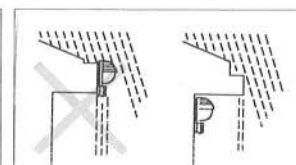
取り付けについてのご注意



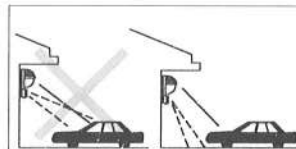
ゆれる木や柱などには取り付けないでください。



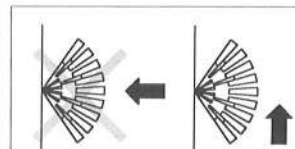
道路上の人、車の方向には向けないでください。



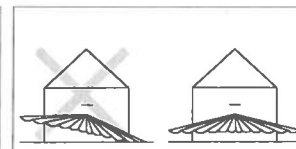
雨や水のかかる場所には取り付けないでください。



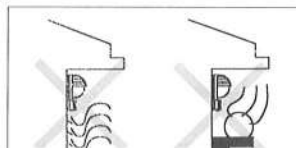
ガラスや表面が光るもの方向には向けないでください。



センサー光線を横切るように取り付けてください。



センサーが水平になるように取り付けてください。



換気扇やエアコンの上には取り付けないでください。



太陽の方向に向けて取り付けないでください。

取付け方法

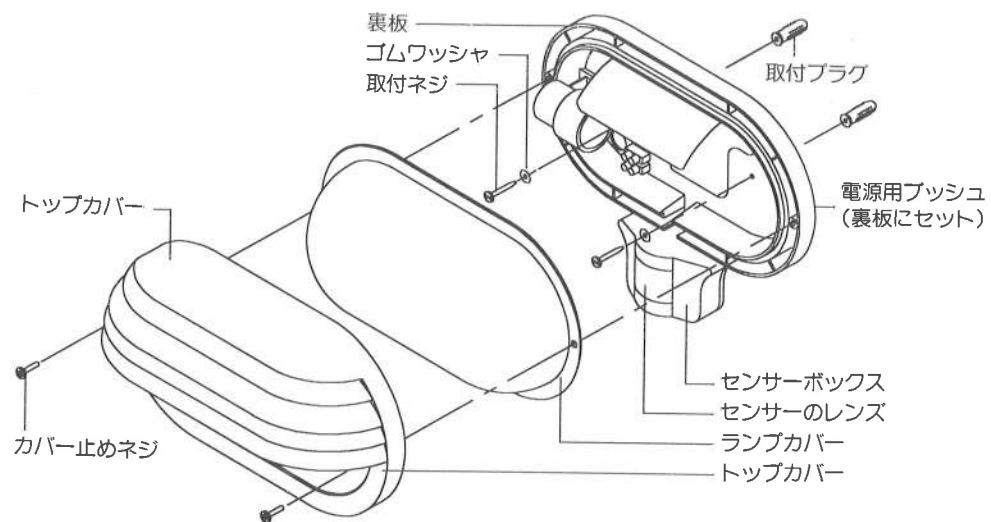


図 6

- カバー止めネジをゆるめてトップカバー、ランプカバーを取り除いてください。(図 6 参照)
- 電源用ブッシュに穴をあけ、電源を通してください。(図 6 参照)
- 配線は端子の中に電線を差し込み、ネジで止めてください。(図 8 参照)
- 裏板の取付け穴部は円形で厚みが薄くなっていますので、内側からドライバーで強く押しあけてください。(開かないときはドリルをご使用ください) (図 7 参照)
- 取り付け部が木材、新建材で30mm以上の厚さの時は取付けネジで止めてください。
- 取り付け部がモルタル、コンクリートなどの時はプラグの外に合わせて穴を開けてからプラグを差し込んでください。(穴の寸法は 6 × 30mm)
- ランプカバー、トップカバーをセットしてカバー止めネジで止めてください。



図 7

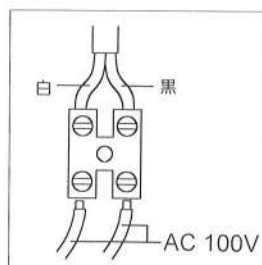


図 8